

議会が **もっと** 近くなる 市民の声

燕市中央公民館文化祭

今回は令和7年11月15・16日に開催された「燕市中央公民館文化祭」に伺いました。



学び、描き、
挑み続ける彩好会

さいこうかい
彩好会

代表者 いずも ぶんじ さん
出雲 文次 さん

彩好会は日本画を学び、実際に絵を描く会で40年くらいの歴史があります。今は30名程の会員がいて各展示会に挑戦しています。

私は彩好会に入り10年くらい経ちますが、年間7～8枚の絵を描いて展示会に出展していて、賞もいただいています。風景画を多く描き、実際に行った場所を描きますが、写真などを見てその風景を表現するのに苦労しています。

もう90歳近くなりますが、今後も絵を描いていきたいです！

燕市
聴覚障がい者協会

代表者
わた まこと
和田 誠 さん

伝え合えることが
住みやすさにつながると思います



燕市中央公民館での手話学習の様子

文化祭では、初心者向けの手話教室を開催しました。手話で「いつでもどこでも誰とでもコミュニケーションをとれる社会」になってほしいと思います。

市民の皆さんに手話を覚えてもらうためにも、手話サークルや手話学習を通じて、耳が聴こえない人たちとの交流を深めていただけるとありがたいです。

これからの燕市が市民の皆さんにとって、「より住みやすいまち」になることを望んでいます。



(左から)
佐久間 則行さん
木村 正敏さん
近藤 麻理子さん
徳永 政夫さん

桜町地区
アビリティ燕

61人の個性は
61通りの表現力

代表者 こんどう まりこ さん
近藤 麻理子 さん

アビリティ燕は、NPO法人として福祉事業を行う多機能型の指定事業所です。この展示会は最初は写真展から始まり、もう20年以上になります。今回の文化祭は総勢61人が参加しました。

障がい者は暗いと思われがちでしたが、みんな個性的で健常者とは違う感性を持っていると思います。能力もとても高く、毎回面白い作品を作ってくれます。マラソン部というサークルもあり、体力も気力も備えてます。

From editor

編・集・を・終・え・て

約7年振りに議会だよりの編集委員となり、市民の声の記事も担当しました。内容とともに、前号から表紙の雰囲気が変わった所も注目いただければ幸いです。今月4日には、紙面作成の概要などについて他県から視察に来られます。今後とも見本となるような紙面づくりに努めていきます。(山崎光男)

議会にみんなの声を！ 1分アンケート実施中。
たくさんの声、お待ちしております！



¥FREE (for 燕市民)
燕市議会 TSBN15213-2026

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。
UD
ユニバーサル
デザイン
Font

Cover story

今・号・の・表・紙

前回に続いて「ふれあいステーション白山町」を利用されている方の貼り絵です。新春にふさわしい作品ですね。お見事。午年の今年は10月に市議選が行われます。それに向けて各馬(各議員)ゲートインする状況です。



議会だよりは年4回(2月1日・5月1日・8月1日・11月1日)発行。各戸配布のほか、議会ホームページやスマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。



「マチイロ」のダウンロードはこちらから